

## 8月11日：VN指数は反落するも出来高は過去1ヶ月間で最大

2日続伸となったVN指数だが、この日は反落した。

出来高は急増し、過去1ヶ月間で最大となった。このことは7月に底値をつけて以来、マーケットへの投資家の関心が再び高まっていることを示している。

ホーチミン市場のVN指数は0.34%安の1,357.79ポイントで取引を終えた。

ハノイ市場のHNX指数も0.19%安の334.44ポイントで引けた。

両指数ともに直近2日間上昇していた。

両市場の出来高は回復した。売買高は前日比で9%増の9億5,600万株、売買代金は11%増の29兆8000億ドンとなった。

特にホーチミン市場の売買代金は、VN指数が1,296ポイントの底値をつけた7月12日以来の最高となった。

「VN指数が9日続伸した後に売り買い交錯するのは、普通のことだ。前向きな点はマーケットの出来高が徐々に回復しており、これは投資資金が戻ってきていることを示している」（vietstock.vnで執筆するマーケットアナリスト）

不動産セクターは値動きが冴えなかった。ビンググループ（VIC）-1.8%、ノブランド不動産投資グループ（NVL）-0.9%、ビンホームズ（VHM）-0.7%と主力株が売られた。

その一方で、銀行株は引き続きマーケットを支えた。

ベトコムバンク（VCB）+1.5%、VPバンク（VPB）+1.2%、TPバンク（TPB）+2.8%とそれぞれ上昇し、VN指数の値上がり寄与度上位5名柄に入った。

しかし、銀行株全体ではまちまちな展開となった。ベトナム投資開発銀行（BID）、アジアコマーシャル銀行（ACB）、HDバンク（HDB）といった大手銀行銘柄も売られた。

セクター別では全25業種のうち、15業種が下落、10業種が上昇した。輸送、倉庫、一般消費財といった小規模セクターの銘柄の多くに買いが集まり、ストップ高近くまで上昇した。

「上記の流れから VN 指数は今後 1,350～1,380 ポイントのレンジで推移する可能性がある」（BIDV 証券アナリストのデイリーレポート）

外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で合わせて 7,600 億ドンを売り越した。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。